

大館市 ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界中で異常気象が発生し、自然災害が頻発し激甚化しています。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命前から平均気温上昇の幅を2度未満とする」目標が国際的に広く共有されるとともに、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、「気温上昇を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされており、この目標達成に向けた取り組みが不可欠です。

大館市は1999年から秋田県北部エコタウン計画を推し進め、基幹産業である農業、林業、鉱業の地域資源や技術、施設を活用した環境・リサイクル産業の振興やISO14001に基づく環境マネジメントシステムを運用するなど、早くから環境に目を向け循環型社会の形成に取り組んでまいりました。

さらに、国際社会の一員として脱炭素社会へ貢献すべく、豊かな自然と快適に暮らせるおおだて、そして健康な地球を次世代に継承出来るよう、市民や事業者と一体となり、2050年までに二酸化炭素実質排出ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に取り組むことを宣言します。

令和3年2月16日

大館市長

福原淳嗣